



# TOKYO NEWS FLASH

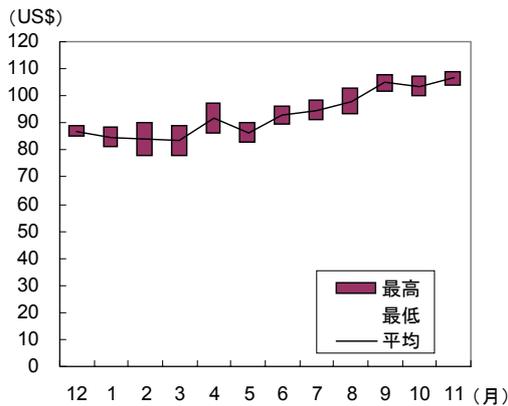
米国食肉輸出連合会 (USMEF)

Volume 248 November 14, 2003

## 米国食肉市場ニュース

### ～ 牛肉 ～

去勢牛の 100 ポンド (約 45kg) 当たりの価格  
(オクラホマシティー・体重 600～700 ポンド)



資料 : Cattle-Glenn Grimes & Ron Plain

### 牛肉市況 (11月3～7日)

記録的な高値が依然続く。

#### ● 週間と畜頭数 :

59万7,000頭 (前週比 12.1%減)。

● **肥育牛の現金取引価格** (100ポンド [約45kg] 当たり) :  
前週と比べて堅調。中西部の直接取引では 103.00～108.00 ドル (平均 105.00 ドル)、ハイプレーンズでは 100.00～105.00 ドル (平均 103.50 ドル)。

● **主要5地域の取引価格** (100ポンド [約45kg] 当たり) :  
生体は平均 103.85 ドル、枝肉は同 166.60 ドル。

● **牛肉価格** (100ポンド [約45kg] 当たり) :  
歩留り等級 3 (YG3) のチョイスは、週半ばに 172.00 ドルまで値を上げたが、7日正午には 171.15 ドルに下げた。YG2～3 のセレクトは 149.52 ドル (7日午前) で取引。

#### ● 牛肉の米国内市場動向 :

今週発表の貿易報告書によると、米国のカナダ産牛肉の輸入量は、今年 5 月 20 日以前の水準にまで回復した。しかし過去 6 週間を見ると、国内の牛肉生産高は依然として前年を 11% 以上割り込んでいる。加えて、牛肉需要が 3% 増加していることから、輸入量が回復しても価格の急騰は避けられないと見られる。

#### ● と畜動向 :

雄牛・雌牛のと畜割合から、肥育頭数の削減が引き続きゆるやかに進んでいると見られる。今年 9 月までの雌牛の年間と畜頭数は、前年比 1.5% 増。今年 7 月 1 日時点での未経産牛の頭数については、肉用経産牛の搬入用は前年と変わらず、乳用経産牛の搬入用は前年比 3% 減。

#### ● 牛肉生産の見通し :

2004 年 1 月 1 日の繁殖用頭数は、前年比微減となる見込み。これを受けて、牛肉生産高は引き続き低調に推移すると見られる。

オクラホマシティーにおける去勢素牛の体重別、100ポンド (約 45kg) 当たりの価格 (US\$)

体重 (ポンド)	11月3～7日
400～500	105.00～130.50
500～600	98.00～121.00
600～700	96.00～111.00 <sup>1</sup>
	104.00～109.00 <sup>2</sup>
700～800	103.00～109.00
800～850	103.00

注 : 1. 子牛 2. イヤリングビーフ (若齢牛)

(Cattle-Glenn Grimes & Ron Plain, 11/07/2003)

### 主要 12 州<sup>1</sup> のフィードロット<sup>2</sup> 内頭数、前年比 2% 減 (2003 年 10 月 1 日現在)<sup>6</sup>

	2003 年 <sup>3</sup>	対前年
9月1日現在フィードロット内頭数 <sup>4</sup>	9,599	98%
9月導入頭数	2,372	112%
9月出荷頭数	1,962	111%
9月のその他の消失 <sup>5</sup>	61	117%
10月1日現在フィードロット内頭数 <sup>4</sup>	9,948	98%

注 : 1. アリゾナ、カリフォルニア、コロラド、アイダホ、アイオワ、カンザス、ネブラスカ、ニューメキシコ、オクラホマ、サウスダコタ、テキサス、ワシントン。  
2. 収容頭数 1000 頭以上。  
3. 単位 : 1000 頭。  
4. 穀類あるいは他の濃縮飼料を主食とし、セレクト以上として肥育される、と畜用の牛、子牛。  
5. 死亡、放牧場への移動、他のフィードロットへの移動など。  
6. 10 月下旬の号に掲載予定でしたが、10 月休刊のため今号に掲載していません。

(USDA's Cattle on Feed, 10/17/2003)

## ～ 豚肉 ～

### 豚肉市況（11月3～7日）

#### ● 週間と畜頭数：

214万6,000頭（前年比2.7%増）で、引き続き予測を上回る水準で推移。過去6週間のと畜頭数は、9月の『Hogs and Pigs』レポートによる前年比2%減との予測に反して前年比2.4%増。

#### ● 経産・未經産豚のと畜頭数：

国産経産豚は引き続き前年を大幅に割り込み、10月第4週では前年比約23%減。9月第1週から10月第4週の経産豚のと畜頭数は、同7万5,938頭減少。これは、9月の繁殖用豚在庫頭数の1.3%に相当する。また、9月第1週～10月第4週までにおける未經産豚のと畜は、前年とほぼ変わらず、繁殖用頭数の増減に影響していない。

#### ● 肉豚の現金取引価格

（7日午前/100ポンド [約45kg] 当たり）：

前週終値に比べて0.50～3.00ドル高、枝肉は平均で1.25～3.14ドル高。

100ポンド（約45kg）当たりの豚肉の製品価格  
（11月7日正午/US\$）

製品名	価格	備考
ロイン	90.00	トリム 1/4 インチ
ポストン・バット	58.28	トリム 1/4 インチ
ハム	60.00	17～20ポンド物 （約7.70～9.06kg）
ポークベリー	80.00	12～14ポンド物 （約5.44～6.43kg）

主要市場における100ポンド（約45kg）  
当たりの最高価格（US\$）

	11月7日
ペオリア	34.00
セントポール	35.00
スーフォールズ	35.50
ミズーリ中央部	31.75

185ポンド物（約83.5kg）の枝肉平均価格（US\$）

	11月7日
東部トウモロコシ地帯	45.88
西部トウモロコシ地帯	48.90
アイオワ・ミネソタ	49.68
全国	47.55

（Hogs-Glenn Grimes & Ron Plain, 11/07/2003）

## パッカー・ニュース

### スミスフィールド、ファームランドの買収を完了

スミスフィールド・フーズ社は、米国破産裁判所の認可を受けて、かねてから進めていたファームランド・フーズ社（ファームランド・インダストリーズ社の豚肉製造・加工部門）の買収を完了した。

10月12日に行われた競売において、スミスフィールドはカーギル社（本社ミネアポリス）に競り勝ち同社を落札。スミスフィールドは、現金3億6,740万ドルを支払うとともに、同社および親会社の年金や関連資産といった債務の一部を肩代わりする。この年金債務は、競売で9,000万ドルと評価された。

この買収により、スミスフィールドの年間売上高は100億ドルに達すると見られる。

（Meatingplace.com, 10/29/2003）

## 食品安全ニュース

### ナショナル・ビーフ、ラクトフェリンの使用を開始

ナショナル・ビーフ社（本社カンザスシティ）は、病原性大腸菌 O157 : H7 型やサルモネラ菌、リステリア菌汚染の防止策強化のため、食品衛生手順にラクトフェリンを組み込んだ。

ラクトフェリンは母乳や牛乳に含まれる天然のタンパク質で、免疫機能の発達段階にある乳児を病原菌から保護すると考えられている。ラクトフェリンは元来、牛肉中にも存在するが、ラクトフェリン分子を活性化させる方法が発見されたことで、その病原菌攻撃特性を牛肉の表面でも再現できる、と科学者らはみている。

ナショナル・ビーフ社はカンザス州のドッジシティおよびリベラル両工場にラクトフェリンの使用を開始。新技術を適用した商品は11月初旬から店頭で販売される。

（Meatingplace.com, 10/29/2003）

(参考)

米国のレッドミート生産量<sup>1</sup> (連邦検査を受けたもの)<sup>3</sup>

(100万ポンド)

種別	2002	2003	2003	2003年9月 (%)		1~9月累計 <sup>2</sup>		
	9月	8月	9月	対2002年 9月	対2003年 8月	2002年	2003年	対2002年 (%)
牛肉	2,170	2,299	2,282	105%	99%	20,030	20,003	100%
子牛肉	15.7	13.7	14.7	94%	108%	137.8	136.7	99%
豚肉	1,617	1,538	1,645	102%	107%	14,242	14,262	100%
ラム/マトン	16.8	14.9	16.1	96%	108%	155.0	140.8	91%
レッドミート合計	3,820	3,865	3,958	104%	102%	34,565	34,543	100%

資料： USDA's Livestock Slaughter, 10/24/2003

注： 1. パッカーの枝肉重量に基づく。農場でのと畜は除く。

2. 切り上げ、切り捨てなしのデータに基づく累計および比率。

3. 10月下旬の号に掲載予定でしたが、10月休刊のため、今号に掲載しています。